

平成3年4月23日

歴史を創った女たち

「豊島区ゆかりの先駆者たちの肖像」展

26日(金)まで、豊島区役所1階ロビーにて開催

巣鴨にあった明治女学校の出身で、自らも巣鴨に住んだ野上弥生子。大正3年に光太郎と結婚し、本郷に移るまで雑司が谷に住んだ高村智恵子は、今も豊島区(染井霊園)に眠る。

東池袋1-18-1、豊島区役所ロビーにて、豊島区にその足跡を残していった女性先駆者たちの肖像展が開かれている。これは、いよいよ本格化する豊島区女性史編さん事業を記念して開催されたもの。

ほかに、大正10年、女性の自由主義教育をめざし自由学園を創立した羽仁もと子。情熱の歌人と呼ばれる柳原白蓮。巣鴨に住み、女性の手になる最初の女性文芸雑誌「青鞥(せいとう)」を発刊した平塚らいてうなどさまざまな分野の草分けとして、その名をよく耳にする女性先駆者たちの生きざまや、豊島区への関わりをパネル展示、区役所を訪れた区民も思わず足を止め、パネルに見入っている。

また、26日(金)午後2時～4時には、作家の永畑道子氏を講師に迎え、『歴史を創った女たち』と題した講演を開催する。豊島区民センター5階音楽室(東池袋1-20-10)にて。入場無料。

[問合せ] 豊島区 婦人青少年課 婦人係